

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 2 月 1 日

事業所名:多摩市ひまわり教室

保護者等世帯数:27世帯、回収数:25世帯、回収率:96%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48%	52%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市への要望としてやはり広い園庭や学校ではなく、幼児向けに建てられた園舎に通わせたかった。</li> <li>・若干狭いように思える。園庭がどうしてもベランダなので、広さが十分ではない(3)</li> <li>・各クラスの部屋以外にもベランダやすいか部屋等、色々活動スペースがあり良い。</li> <li>・広場に行くことは毎日ではなく、ベランダでは走り回りたい子には狭くも感じる。</li> <li>・子どもがお友達とぶつかったりしないか、室内の時は活動中の自分の子どもはびくびくしている様子をよく見かける。</li> <li>・普段は良いが、3学年が集まり保護者参加だと密だと感じた。</li> <li>・プールができる場所がもう少し広ければ子どもが入れる機会も増えるのではないかと。</li> <li>・もう少し外で自由時間等遊べるスペースが広いと良い。</li> </ul>	<p>制度上では定員27名の場合、部屋は81㎡(27×3㎡)とされています。ひまわりは1階の3部屋(合計128㎡)と1階の個室、2階の個室、プレイルームを合わせると230㎡近いスペースがありますので、基準の約3倍の広さとなっています。制度上では敷地内に屋外施設は不要ですが、ベランダと広場が設置されています。また、遊歩道や公園等の社会資源も確保されています。</p> <p>この環境を活かし、クラスごとに連携して計画的に使用する中で、身体をたくさん動かせる機会を増やしていきたいと思います。</p>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	56%	24%	8%	12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前より専門性は落ちた。</li> <li>・問題行動が少なく自分をアピールする力が弱い子どもは、細やかに接する機会はもしかしたら少ないのかもしれないので、多人数クラスには職員がもっと配置されていたほうが良いかもしれない。</li> <li>・強いて言うなら、偏食の子が多いと思うので、その子にあった栄養バランスを配慮できる方法を助言して下さる方がいるとありがたい。</li> <li>・事務作業等もあると思うので、職員の負担が大きい。</li> <li>・STの専門性と経験に差がある。</li> <li>・スタッフで疲れが見える方もいるので少し不安。</li> <li>・限られた人数の中で一生懸命やっけていただいている。増やしていただければ更に手厚い療育に繋がると期待している。</li> <li>・手厚く頑張っていただいているが、経歴的に職員に1度は一般の保育園・幼稚園の経験があることは必須とは言わないが、とても大事だと思う。保育士資格のある方にはやはり安心して任せられる。個別指導も頑張っていただいているが、やはり子どもから人気のある人は偏っていて、子どものことが好き、今まで他機関で子ども専門の方だったのでは？というのが推測できる。</li> </ul>	<p>国の基準に東京都の加算を入れると、定員27名のひまわりは職員数が7名(1日当たり)となっておりますが、多摩市は9名として予算化しています。また、職員の病休や研修、出張等を想定して毎日11~12名(心理STOT、音楽は含まず)を配置できるように雇用しています。</p> <p>職員の専門性の向上を目的に、今後も様々な分野の学びを深め、多角的・多要因的な視点とスキルを積み重ねます。</p>

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 2 月 1 日

事業所名:多摩市ひまわり教室

保護者等世帯数:27世帯、回収数:25世帯、回収率:96%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	88%	12%	0%	0%	・情報伝達に少し不安。	活動によってレイアウトを変えるなど、構造化を実践しています。また、個々の特性に応じて、視覚、聴覚、身体感覚など、様々な情報伝達を心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88%	8%	0%	4%	・いつもきれいに保たれている。 ・部屋とトイレが接続していれば、もっとトイレに行きやすい。 ・人数が多いクラスでも、活動によって空間を分けたりされ、活動空間作りに配慮されている。 ・トイレが寒く大人でも行きたくないと思ってしまう。 ・療育のために作られた建物ではないので心地よくはないが、とても清潔な空間ではある。	毎日、朝夕の消毒作業、降園後の掃除などに取り組んでいます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・毎回丁寧に作成していただき、感謝している。	多岐に亘る業務の中でも、個別支援計画作成は特に重要です。今年度はICT化導入などで効率よく効果的に取り組んでいます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	92%	8%	0%	0%		ガイドラインの指針を基に、それらを細かく分類し項目立てをしています。お子様の発達状況や今必要な支援について、細やかに丁寧に伝える事を心がけています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%	8%	0%	0%	・様々な活動プログラムがあり、楽しめている様子。 ・計画自体はきちんと立てられているが、実行されているかは少し不安。	ご不安なことがありましたら、遠慮なくお伝えください。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 2 月 1 日

事業所名:多摩市ひまわり教室

保護者等世帯数:27世帯、回収数:25世帯、回収率:96%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	92%	4%	0%	4%	・うちの場合は固定(ある程度)されているほうが良いと思うが、程よく色々な活動が取り入れられている。	目的をもって固定化する場合と新規に提供する場合があり、どちらもお子様の状態によって検討し提供しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4%	9%	83%	4%	・コロナでないのかなと思っているが残念。 ・機会はないが特に問題はない(2) ・年長になると並行通園が絶対の地域もあるらしい。ひまわりでは並行通園が厳しい状況なので、そういう機会を作ってほしい。 ・コロナもあって難しいのかも(3) ・コロナ禍なので交流がないのは問題ない。公園で他の園児と交流するときはある。	集団同士の交流はねらいの定め方が難しいですが、年長児を対象にグループに分かれ、学童クラブと交流会を実施しています。学童クラブではグループのお子さんのねらいに応じた企画を準備してくれています。現在はコロナ禍で中止しています。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	0%	0%	4%		今後も丁寧な説明に努めて参ります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	88%	0%	0%	12%	・丁寧に説明いただきありがたい。	今後もお子様に合わせた支援計画を作成し、説明して参ります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	40%	36%	8%	16%	・私は他所や兄弟児時代の経験や情報で何とか総合的に頑張っている。ただ、限られた時間・人員の中でも非常によくしていただいていると理解している。 ・質問や相談にのってくださるし、しやすい環境ではあるが、ペアレントトレーニングとはまた違うのかと思う。	新入園対象でSTの学習会を6回実施しています。年3回保護者会内で実施する学習会は令和4年度から再開しました。今後もコロナ禍の状況を見ながら実施します。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	88%	12%	0%	0%	・子どもの課題や発達の状況を「日頃」ではあまり伝わってこない。 ・子どものことは良く考えてみられている。	希望面談、サービス提供記録、メールなど、今後も活用していきたいと思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%	4%	0%	0%	・希望制の面談があったり、気軽に相談することができている。	希望面談、サービス提供記録、メールなど、今後も活用していきたいと思います。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 2 月 1 日

事業所名:多摩市ひまわり教室

保護者等世帯数:27世帯、回収数:25世帯、回収率:96%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	84%	8%	0%	8%	・基本はできているが、どうしてもコロナの影響で難しいところがある。 ・感染予防のため集まりずらく、仕方ない。 ・保護者会、パパ会等、定期的に行なっているが、保護者同士の連携というか繋がりは個々で行う必要がある。 ・土日だと子どもの預け先がなく不参加になってしまうので、平日開催や保育有だと良い。	保護者同士の交流の場の開催は今後も感染防止対策を講じながら実施したいと思います。 なお、平日の開催や保育有の開催は担当が出席できなくなるため相当難しいですが、保護者主催での茶話会などは可能と思いますので、お声掛けください。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	88%	8%	0%	4%		相談、意見、苦情等、保護者からの申し入れは職員間で共有し、記録する体制を取っています。迅速かつ適切に対応するように、再度職員間でも仕組みを共有します。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%	0%	0%	・サービス提供記録内で伝えられている。	今後わかりやすく情報を伝えて参ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	76%	16%	0%	8%		毎月1回のひまわりだよりでは、ひまわりの様子、ご家庭での様子、行事予定等を発信しています。また、活動の月案、特別支援療育予定は月1回配布しています。 自己評価の結果は毎年2月に法人HPで公表しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	84%	0%	0%	16%	・注意されすぎている位で、他学年のお子さんの名や保護者の名が分からず、顔を合わせた時に気まずい。	法人の個人情報保護規定に則り、対応しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	92%	4%	0%	4%		各種マニュアルを完備し、必要に応じて改定をしています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	0%	・避難訓練等、定期的に行われているようなので安心。	今後も定期的に避難訓練等を行い、災害時のお子様の安全確保に努めます。

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 2 月 1 日

事業所名:多摩市ひまわり教室

保護者等世帯数:27世帯、回収数:25世帯、回収率:96%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	80%	16%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも楽しみにしている。ありがたく感じている(2)</li> <li>・負荷がかかっている行き渋る時もあるが、その都度通所しやすくなる配慮はされている。</li> <li>・年長にもなると楽しみでも「行きたくない」と言ったりひねくれた部分も出てくるので、楽しみなのかそうでないかわからない面がある。</li> <li>・休日の方が好きな様子。</li> </ul>	今後も、子ども達が「安心して、満足して、楽しく」遊べるサービス提供に努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	84%	16%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね満足しているが、熟練したスタッフが少ないようにも感じている。</li> <li>・クラスの人数が多いので、その中で良くやってくれているが、子どもはもっとこうしてほしいなど、色々あったりするのかもしれない。</li> <li>・学年や人数の関係で制限があり、個別の療育が受けられないプログラムがあるのが残念。(個別OTや心理等)受けられている療育内容については満足している。並行通園ができるようにしてほしい。風邪をひいたりして欠席するとST等の振り替えがなく、機会が減るので何か配慮があるとありがたい。</li> <li>・心理,ST,OTが月に1回あると良い。</li> <li>・子どもの特性を十分理解し適切な支援をして下さり、大変感謝している。</li> </ul>	今後も専門性の向上を目的として研鑽を重ね、限りある人員体制の中でも、お子様が「自分らしく生きていく力」を発揮できるようにサービス提供に努めてまいります。

\*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

\*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。